

科目名 Subject	ゼミ I Seminar I			教員名	河崎・石川・平田・峯脇・ 佐藤亮・中根・過足・阿部	
開講年次	1	開講時期	通年	単位	1単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		◎	○	◎		○
科目の概要	<p>「美しく生きるために必要な能力を有し、美容を通じ広く国際社会に貢献しうる人材」になるために、「美しい生き方」とはどのようなことなのかを考えます。具体的には自己と対峙し、学びから導かれるものを他者と共有することで、自らの「気づき」と、他者から得る「気づき」を集約します。そして美道プロジェクトと連動し、多様な価値観を理解することで自他を受容します。</p> <p>ゼミでは、学習サポート・生活サポートも視野に入れます。学習サポートでは、「学び」を振り返ることを習慣化することで、理解出来たこと、実践できたこと等予習・復習状況も含め、確認することを繰り返すことで、着実な成長を意識していきます。また生活サポートでは、日頃の学生の課題・問題解決に向け、ゼミを担当する教員やゼミ生が互いにサポート役になることで、安心・安全な学生生活を送る一助になり、個やチームの成長に繋げていきます。</p>					
授業方法	対面授業を中心に授業展開しますが、時にオンライン授業（同時双方）を導入する回も想定することもあります。その際は事前に通達します。					
授業の目標	各自が履修している授業をゼミの時間を通して毎週振り返ります。その際ディプロマポリシーの「知識・技能」「主体的行動力」「課題解決能力」「多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力」「日本の伝統文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力」を履修科目から修得している状況を理解することができます。具体的には、自分自身の振り返りを第3者（ゼミ担任・ゼミ生）と共に共有し、多くの「気づき」を述べることです。そのことを通して自分と他者を受容し、自他の「気づき」に働きかけ、週単位、月単位、期間単位の目標を掲げることができ、結果PDCAを回すことができるようになっていることが目標です。					
時間外学習 （予習・復習）	毎回復習として、各ディプロマポリシーを再確認し、自分が到達しているルーブリックのステップを把握します。その際1週間で科目を通して修得できた「内容」と「気づき」を記録します。加えて他者から得た「気づき」を具体的に文字化し併せて記録として残します。また履修科目の予習・復習が実行できているか否かも自己チェックをします。予習としては次の1週間で、どのディプロマポリシーを意識して行動できるかを考え、具体的目標を立てます。予習・復習に要する時間はおよそ30分とします。学苑祭の企画、準備、運営、振り返りを行います。要する時間はおよそ10時間とします。					
教科書・教材	教科書		学修成果カルテの資料			
	教材		必要に応じて提示します。			
	使用設備・備品		PC、CD、DVD、ビデオ再生機			
	参考文献		必要に応じて提示します。			
評価方法	授業での積極的参加態度30%、学習成果カルテの提出状況30%、レポート30%、予習・復習10%の比率で評価します。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。					
	必要の際には、個別にコメントを返します。					
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、私的な携帯電話の使用、授業の妨げ等マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。自分の意見や他者への質問を積極的に出して授業参加することを望みます。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション DP・ルーブリック・シラバスとは何かを知り、理解を深める。	他者（ゼミ生）とのコミュニケーションをとり、相互理解の機会創出ができる。	ゼミの仲間の顔と名前を覚えること。履修科目の理解を更に深める。予習・復習としてDP1～6、ルーブリックの内容を読み、自分なりの解釈をする。
第 2 回	2年生のサポートを受けながらDPを理解する。またルーブリックの内容を把握し、卒業時のDP6の到達点を確認する。履修登録確認をする。（1/2年生合同ゼミ）	DPとは何かを理解し、卒業時までには修得できる姿を予測することができる。	復習としてDP1～6を覚え、ルーブリックの理解度を深める。予習は履修する科目のシラバスを読み込む。
第 3 回	メールの出し方を学ぶ。ペアワークで目標を立て、DPの習得状況を共有する。	メールの出し方の知識を得、コミュニケーションの円滑化を実践できる。目標をゼミ内で共有し、自己・他者の価値観を受容できる。	教員等、メールでコミュニケーションをとる。他者からの「気づき」を記録する。
第 4 回	各履修科目のシラバスを理解し、DPを再度確認する。ゼミ長がチームビルディングの初期計画を立てる。	履修科目のシラバスを具体的に把握し、学びを予測することができる。他者の考えを受容することができる。	復習として、各履修科目のシラバスの理解度を深め、予習として履修科目毎に修得目標をイメージする。チームビルディングの課題を考える。
第 5 回	ルーブリックの扱い方を理解し、ペアで確認作業を行う。ゼミ長を中心に各ゼミでチームビルディングの計画を立てる。	パートナーと互いに必修科目・選択科目の各期待と今後の成長をスタート時点で確認し、目標をたてることができる。チームビルディングでの役割を予測することができる。	履修科目の修得目標を明確に記すことと、その中で科目の一つ選び、次週の発表に備える。チームビルディングの課題を共有し、解決策を考える。
第 6 回	チームビルディングの準備を行う。ペアワークを行いDPの修得状況を確認する。	他者の考えを受容し、チームで協働することができる。	チームビルディングの課題を明確にし、解決に導ける準備をする。
第 7 回	チームビルディングの実践。	協働とは何かを理解し、DPを理解し、実践することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、ルーブリックに繋げる準備をする。
第 8 回	チームビルディングの振り返りを行い、ルーブリックを提出する。（1年生 第1回）	チームビルディングからのDPの習得を確認すると共に、履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにデータ入力し提出する。次の目標を立案できる。	チームビルディングでの自分の役割を振り返る。提出内容の再確認を行い、今後の具体的な行動を考える。
第 9 回	DPへの気づきをゼミで共有する。PROGも活用した個人面談も行い、出席状況や課題提出状況を振り返る。学苑祭委員がスローガンを決める。	1週間の授業から「気づき」をパートナーと他のペアとの4人（チーム）で共有し、自己成長を述べることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。
第 10 回	DPへの気づきをゼミで共有する。PROGも活用した個人面談も行い、DPの習得状況を教員とも共有する。学苑祭のイベントや模擬店を決める。	パートナーと互いに履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにて確認し、行動目標を立案できる。	提出内容の再確認を行い、今後の具体的な行動を考える。学苑祭の課題を考える。
第 11 回	DPへの気づきをゼミで共有し、PROGも活用した個人面談も行う。現時点までの成長と今後の成長を意識する。学苑祭のスケジュールや必要な予算、備品、消耗品を考える。	自己と他者を受容し、学生間・教員と学生とのアサーティブコミュニケーションを取ることができる。	入学後の成長を振り返る。来週の目標・残り前期中の具体的な目標を考える。学苑祭の課題を共有し、解決策を考える。
第 12 回	再度DPの理解を深めるため、DPとは何かを考える。ペアワークで振り返りと目標立案をする。学苑祭の出し物の見直しを行い、当日の動きと必要なものの再確認を行う。	DPの理解を深めることで、他者にDPを説明することができる。	DPを再度確認し、DP習得の具体例を多く出す。学苑祭の課題を明確にし、解決に導ける準備をする。
第 13 回	DPの理解を深めるため、DPとは何かを考え、グループワークで共有する。	履修科目別で、DPの習得を整理して、習得状況を発表することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。
第 14 回	2年生と共に各科目の振り返りを各自で行い、自己評価し、各DP1～5で修得できた項目をあげてみる。出席状況や課題提出状況を振り返る。（1/2年生合同ゼミ）	2年生との合同ゼミ内で前期の振り返り、DPで修得できた項目、修得するために努力した内容、後期に繋がる課題を考え自己評価できる。	前期の振り返りを行い、自己評価・他者評価を纏め、次週のゼミ内での発表に備える。
第 15 回	各自の修得した成果をゼミ内で個々に発表し、自己肯定・他者理解を行う。ルーブリックの提出と共に、前期の出席状況や課題提出状況を振り返る。（1年生 第2回）	各自の成果を発表し、学修成果カルテを用いて前期の学びを確認することで、後期への学びのポイントを把握できる。	提出内容の再確認を行い、後期に向けての具体的な行動や目標を考える。

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第16回	前期の振り返り・夏休みの振り返りを行う。また後期履修科目のシラバスを理解し、履修を考える。	履修科目のシラバスを具体的に把握することができ、後期15回の授業の展開を予測することができる。	各履修科目のシラバスの理解度を深め、予習として履修科目毎に修得目標をイメージする。
第17回	後期履修科目で何を学び修得するかをペアワークで確認する。	パートナーと互いに必修科目・選択科目のそれぞれの期待と今後の成長を確認し、述べることができる。	履修科目の修得目標を明確に記す。アサーティブコミュニケーションを意識し、発言の準備を行う。
第18回	学苑祭の話し合いをする。出席状況や課題提出状況をペアで振り返る。	自己と他者を受容し、アサーティブコミュニケーションを取り、協働できる。	他者の意見を傾聴し、自分の考えを纏める。自己の役割を認識し、具体的な行動を考え、準備をする。
第19回	学苑祭の振り返りを行う。DPの習得状況を確認する。	自己と他者を受容し、具体的行動例から、DP習得への「気づき」を得ることができる。	学苑祭での自分の役割を振り返る。来週の目標を考える。
第20回	DPへの気づきをゼミで共有する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	1週間の授業からの「気づき」をパートナーと共有し、「気づき」を述べることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、ルーブリックに繋げる準備をする。
第21回	2年生と共に学苑祭の振り返りを行う。修得できたDPを確認すると共に、課題を考え議論する。（1/2年生合同ゼミ）	2年生との合同ゼミ内で授業の振り返り、DPで修得できた項目、学苑祭での役割、今後に繋がる課題を考え解決策を説明できる。	学苑祭での課題を振り返る。来週の目標を考える。
第22回	1週間の授業からDPへの気づきをゼミで共有する。1週間の目標と成果も意識する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	1週間の授業からの「気づき」をパートナーと共有し、互いに「気づき」を伝えることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。
第23回	DPへの「気づき」をゼミで共有する。ルーブリックの提出を行う。（1年生第3回）	「気づき」をゼミで共有し、他者の価値観を受容できる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、ルーブリックと繋げる準備をする。
第24回	DPへの気づきをゼミで共有する。PROGも活用した個人面談も行い、出席状況や課題提出状況を振り返る。	1週間の授業から「気づき」をパートナーと他のペアとの4人（チーム）で共有し、自己成長を述べることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。
第25回	DPへの気づきをゼミで共有する。PROGも活用した個人面談も行い、DPの習得状況を教員とも共有する。出席状況や課題提出状況を振り返る。	パートナーと互いに履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにて確認し、行動目標を立案できる。	提出内容の再確認を行い、今後の具体的な行動を考える。
第26回	DPへの気づきをゼミで共有し、PROGも活用した個人面談も行う。入学から現時点での成長と今後の成長を意識する。	自己と他者を受容し、学生間・教員と学生とのアサーティブコミュニケーションを取ることができる。	入学後の成長を振り返る。来週の目標・残り後期中の具体的な目標を考える。
第27回	DPの習得状況を振り返り、課題を出す。	DP習得に向けて、課題を明確にし、解決できるようになる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」から課題解決することの具体的な例をあげてみる。
第28回	1年間を通して習得したDPの理解度を確認し、ゼミ内で共有し、説明する。	DPとは何かを再度確認して述べることができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。来週の目標を考える。
第29回	新1年生の履修登録にアドバイスできる為の準備を行う。	後期・1年間の振り返り、DPで修得できた項目、修得するために努力してきた内容を振り返ることで、新1年生にDPを説明することができる。	後期並びに1年間の振り返りを行い、自己評価・他者評価を纏め、次週のゼミ内での発表に備える。
第30回	各自の1年間で修得した成果をゼミ内で個々に発表し、自己肯定・他者理解を行う。ルーブリックの提出を行う。（1年生 第4回）	各自の成果発表を受け、自他の1年間の学びを振り返り、自己評価・他者評価することができる。	提出内容の再確認を行い、2年生に向けての具体的な行動や目標を考える。